

平成 29 年 8 月 31 日

【照会先】

政策統括官付参事官付社会統計室

室長 小西 香奈江

室長補佐 三上 春昭

(担当) 介護統計第三係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7570)

(直通電話) 03(3595)2918

## 平成 28 年度 介護給付費等実態調査の概況

(平成 28 年 5 月審査分～平成 29 年 4 月審査分)

### 目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 受給者の状況	
(1) 年間受給者数	3
(2) 要介護(要支援)状態区分の変化	5
(3) 性・年齢階級別にみた受給者の状況	6
2 受給者 1 人当たり費用額	
(1) サービス種類別にみた受給者 1 人当たり費用額	7
(2) 都道府県別にみた受給者 1 人当たり費用額	8
3 居宅サービスの状況	
(1) 利用状況	9
(2) 訪問介護	10
(3) 通所介護・通所リハビリテーション	10
(4) 福祉用具貸与	11
4 地域密着型サービスの状況	12
5 施設サービスの状況	
(1) 要介護状態区分別にみた単位数・受給者 1 人当たり費用額	13
(2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合	14
統計表	15
用語の定義	20

平成 28 年度介護給付費等実態調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

アドレス ( <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/45-1.html> )

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、介護サービスに係る給付費等の状況を把握し、介護報酬の改定など、介護保険制度の円滑な運営及び政策の立案に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の範囲

各都道府県国民健康保険団体連合会が審査したすべての介護給付費明細書、介護予防・日常生活支援総合事業費明細書及び給付管理票を集計対象とした。

ただし、福祉用具購入費、住宅改修費など市区町村が直接支払う費用（償還払い）は含まない。

## 3 調査の時期

毎月（平成28年5月審査分～平成29年4月審査分）

## 4 調査事項

- (1) 介護給付費明細書及び介護予防・日常生活支援総合事業費明細書  
性、年齢、要介護(要支援)状態区分、サービス種類別単位数・回数等
- (2) 給付管理票  
性、年齢、要介護(要支援)状態区分、サービス種類別計画単位数等

## 5 調査の方法及び系統

### (1) 調査の方法

国民健康保険中央会の取りまとめのもとに、各都道府県国民健康保険団体連合会において審査した介護給付費明細書等のデータをコピーし、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）に提出する方法により行った。

### (2) 調査の系統



## 6 集計方法

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）で行った。

## 7 利用上の注意

### (1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
表章単位の2分の1未満の場合	0.0
減少数（率）の場合	△

- (2) 原審査分について集計している。なお、単位数・件数については、事業所からの請求時点の数値を集計している。
- (3) 数値はそれぞれの表章単位未満での四捨五入等のため、内訳の合計が総数に一致しない場合がある。

# 結果の概要

## 1 受給者の状況

### (1) 年間受給者数

平成28年5月審査分から平成29年4月審査分（以下「1年間」という。）における介護予防サービス及び介護サービスの年間累計受給者数をみると62,273.5千人となっており、そのうち介護予防サービス受給者数は12,885.8千人、介護サービス受給者数は49,413.9千人となっている。

また、年間実受給者数は、6,138.1千人となっている。（表1、表2-1、表2-2）

表1 受給者数の年次推移

（単位：千人）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	対前年度増減数	
					対前年度増減数	増減率
年間累計受給者数 <sup>1)</sup>	57 159.2	59 685.5	61 932.0	62 273.5	341.5	0.6%
年間実受給者数 <sup>2)</sup>	5 660.5	5 883.0	6 051.1	6 138.1	87.1	1.4%

注：1)「年間累計受給者数」は、各年度とも5月から翌年4月の各審査月の介護予防サービス又は介護サービス受給者数の合計である。

2)「年間実受給者数」は、各年度とも4月から翌年3月の1年間において一度でも介護予防サービス又は介護サービスを受給したことのある者の数であり、同一人が2回以上受給した場合は1人として計上している。ただし、当該期間中に被保険者番号の変更があった場合には、別受給者として計上している。

表2-1 サービス種類別にみた受給者数（介護予防サービス）

（単位：千人）

	年間累計受給者数 <sup>1)</sup>				年間実受給者数 <sup>2)</sup>			
	平成28年度	平成27年度	対前年度		平成28年度	平成27年度	対前年度	
			増減数	増減率			増減数	増減率
総数	12 885.8	13 768.8	△ 883.0	△ 6.4%	1 500.1	1 559.5	△ 59.4	△ 3.8%
介護予防居宅サービス	12 671.7	13 546.5	△ 874.9	△ 6.5%	1 483.6	1 544.0	△ 60.4	△ 3.9%
訪問通所	12 195.2	13 123.7	△ 928.5	△ 7.1%	1 429.9	1 497.9	△ 68.0	△ 4.5%
介護予防訪問介護	4 183.3	5 252.9	△ 1 069.6	△ 20.4%	512.6	602.3	△ 89.8	△ 14.9%
介護予防訪問入浴介護	5.6	5.5	0.1	1.2%	1.2	1.3	△ 0.0	△ 1.1%
介護予防訪問看護	696.3	595.0	101.3	17.0%	99.9	86.1	13.8	16.0%
介護予防訪問リハビリテーション	169.7	149.9	19.8	13.2%	25.1	22.1	3.0	13.5%
介護予防通所介護	5 098.4	6 149.5	△ 1 051.2	△ 17.1%	660.7	760.3	△ 99.6	△ 13.1%
介護予防通所リハビリテーション	1 769.0	1 671.8	97.2	5.8%	216.0	203.6	12.5	6.1%
介護予防福祉用具貸与	4 951.1	4 437.5	513.6	11.6%	598.3	543.9	54.4	10.0%
短期入所	135.7	133.8	2.0	1.5%	47.7	46.8	0.9	1.8%
介護予防短期入所生活介護	122.3	120.4	1.9	1.6%	42.4	41.6	0.8	1.9%
介護予防短期入所療養介護（老健）	12.9	12.8	0.1	0.7%	5.5	5.5	0.0	0.3%
介護予防短期入所療養介護（病院等）	0.7	0.8	△ 0.0	△ 1.7%	0.3	0.3	0.0	5.1%
介護予防居宅療養管理指導	495.7	438.8	56.8	13.0%	75.4	67.2	8.2	12.3%
介護予防特定施設入居者生活介護	332.0	315.1	16.9	5.4%	41.3	39.2	2.0	5.2%
介護予防支援	12 062.4	12 986.0	△ 923.6	△ 7.1%	1 430.4	1 497.7	△ 67.3	△ 4.5%
地域密着型介護予防サービス	150.3	138.6	11.7	8.4%	21.9	20.2	1.7	8.2%
介護予防認知症対応型通所介護	12.3	12.2	0.1	0.7%	2.0	2.0	△ 0.1	△ 2.9%
介護予防小規模多機能型居宅介護（短期利用以外）	126.5	115.6	10.9	9.5%	17.7	16.2	1.6	9.6%
介護予防小規模多機能型居宅介護（短期利用）	0.3	0.1	0.1	95.0%	0.2	0.1	0.1	60.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護（短期利用以外）	11.3	10.7	0.5	5.0%	2.1	2.0	0.1	5.1%
介護予防認知症対応型共同生活介護（短期利用）	0.0	0.0	0.0	14.7%	0.0	0.0	0.0	13.0%

注：1年間のうち介護予防サービスと介護サービスの両方を受けた者は、それぞれに計上される。

1)「年間累計受給者数」は、各年度とも5月から翌年4月の各審査月の介護予防サービス受給者数の合計である。

2)「年間実受給者数」は、各年度とも4月から翌年3月の1年間において一度でも介護予防サービスを受給したことのある者の数であり、同一人が2回以上受給した場合は1人として計上している。ただし、当該期間中に被保険者番号の変更があった場合には、別受給者として計上している。

表2-2 サービス種類別にみた受給者数（介護サービス）

(単位:千人)

	年間累計受給者数 <sup>1)</sup>				年間実受給者数 <sup>2)</sup>			
	平成28年度	平成27年度	対前年度		平成28年度	平成27年度	対前年度	
			増減数	増減率			増減数	増減率
総数	49 413.9	48 192.2	1 221.7	2.5%	4 975.5	4 840.0	135.6	2.8%
居宅サービス	34 564.1	34 603.9	△ 39.8	△ 0.1%	3 735.2	3 707.2	28.0	0.8%
訪問通所	29 708.8	30 178.4	△ 469.7	△ 1.6%	3 283.6	3 304.9	△ 21.3	△ 0.6%
訪問介護	11 918.3	11 772.6	145.7	1.2%	1 440.5	1 425.0	15.5	1.1%
訪問入浴介護	818.7	852.6	△ 33.9	△ 4.0%	128.9	132.4	△ 3.5	△ 2.6%
訪問看護	4 666.0	4 300.0	366.0	8.5%	612.2	565.8	46.4	8.2%
訪問リハビリテーション	991.3	937.9	53.4	5.7%	133.8	125.8	8.1	6.4%
通所介護	13 183.5	16 680.5	△ 3 496.9	△ 21.0%	1 530.3	1 918.9	△ 388.6	△ 20.2%
通所リハビリテーション	5 159.0	5 075.9	83.1	1.6%	607.9	594.9	13.0	2.2%
福祉用具貸与	19 013.2	18 096.9	916.3	5.1%	2 232.2	2 129.7	102.4	4.8%
短期入所	4 458.3	4 428.7	29.6	0.7%	837.7	822.2	15.5	1.9%
短期入所生活介護	3 888.1	3 851.9	36.2	0.9%	719.1	703.4	15.7	2.2%
短期入所療養介護(老健)	582.3	587.8	△ 5.5	△ 0.9%	146.0	145.8	0.1	0.1%
短期入所療養介護(病院等)	27.8	30.1	△ 2.3	△ 7.6%	6.5	7.0	△ 0.5	△ 7.5%
居宅療養管理指導	7 212.0	6 527.6	684.4	10.5%	891.1	810.4	80.7	10.0%
特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	2 213.6	2 107.2	106.4	5.1%	246.8	231.9	14.9	6.4%
特定施設入居者生活介護(短期利用)	14.7	7.9	6.8	85.5%	5.8	3.6	2.2	59.6%
居宅介護支援	30 848.8	30 008.3	840.5	2.8%	3 445.7	3 350.9	94.8	2.8%
地域密着型サービス	9 802.8	4 911.7	4 891.2	99.6%	1 119.3	538.0	581.3	108.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	187.0	148.3	38.7	26.1%	25.8	20.5	5.3	25.8%
夜間対応型訪問介護	94.6	96.8	△ 2.1	△ 2.2%	13.0	13.2	△ 0.2	△ 1.3%
地域密着型通所介護	4 782.5	・	・	・	585.5	・	・	・
認知症対応型通所介護	693.1	702.1	△ 9.1	△ 1.3%	85.1	86.2	△ 1.1	△ 1.3%
小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	1 059.4	993.7	65.7	6.6%	127.5	120.2	7.2	6.0%
小規模多機能型居宅介護(短期利用)	3.9	2.4	1.5	62.2%	1.9	1.4	0.6	41.0%
認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	2 312.6	2 269.7	42.9	1.9%	240.7	234.6	6.1	2.6%
認知症対応型共同生活介護(短期利用)	3.7	3.9	△ 0.2	△ 4.5%	1.8	1.8	△ 0.0	△ 0.4%
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	81.4	76.3	5.1	6.6%	9.0	8.4	0.6	6.8%
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用)	0.3	0.2	0.1	35.4%	0.2	0.1	0.0	23.8%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	605.0	577.9	27.2	4.7%	63.8	60.7	3.1	5.2%
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用以外)	72.7	54.0	18.7	34.6%	10.1	7.5	2.5	33.3%
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用)	1.0	0.5	0.5	94.2%	0.5	0.3	0.2	82.1%
施設サービス	11 223.3	11 097.8	125.4	1.1%	1 250.7	1 231.8	18.9	1.5%
介護福祉施設サービス	6 280.4	6 150.9	129.5	2.1%	656.6	640.1	16.5	2.6%
介護保健施設サービス	4 302.5	4 258.4	44.1	1.0%	552.2	547.9	4.3	0.8%
介護療養施設サービス	678.1	729.2	△ 51.2	△ 7.0%	91.6	97.1	△ 5.5	△ 5.7%

注:1年間のうち介護予防サービスと介護サービスの両方を受けた者は、それぞれに計上される。

1)「年間累計受給者数」は、各年度とも5月から翌年4月の各審査月の介護サービス受給者数の合計である。

2)「年間実受給者数」は、各年度とも4月から翌年3月の1年間において一度でも介護サービスを受給したことのある者の数であり、同一人が2回以上受給した場合は1人として計上している。ただし、当該期間中に被保険者番号の変更があった場合には、別受給者として計上している。

## (2) 要介護(要支援)状態区分の変化

平成 28 年 5 月 審査分における受給者のうち、平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月の各サービス提供月について 1 年間継続して介護予防サービス又は介護サービスを受給した者（以下「年間継続受給者」という。）は、3,774.1 千人となっている（表 3）。

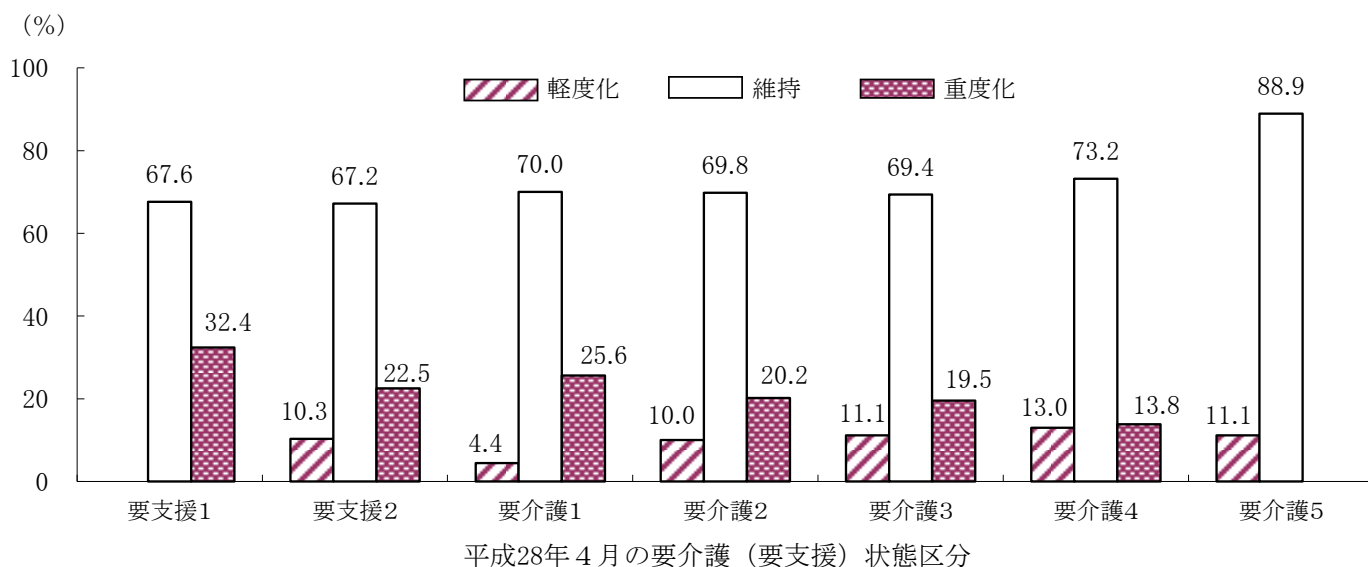
年間継続受給者の要介護(要支援)状態区分を平成 28 年 4 月と平成 29 年 3 月で比較すると、「要支援 1」～「要介護 4」において、要介護（要支援）状態区分の変化がない「維持」の割合が、およそ 7 割となっている（表 3、図 1）。

表3 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合

(単位:%)

		平成 29 年 3 月								
		総数 (3 774.1 千人)	要支援1 (289.3 千人)	要支援2 (403.2 千人)	要介護1 (743.5 千人)	要介護2 (779.3 千人)	要介護3 (606.6 千人)	要介護4 (530.4 千人)	要介護5 (421.9 千人)	
平成 28 年 4 月	総数 (3 774.1 千人)	(100.0)	100.0	7.7	10.7	19.7	20.6	16.1	14.1	11.2
	要支援1 (342.5 千人)	(9.1)	100.0	<b>67.6</b>	19.4	9.7	2.2	0.7	0.4	0.1
	要支援2 (436.3 千人)	(11.6)	100.0	10.3	<b>67.2</b>	14.0	6.2	1.4	0.7	0.2
	要介護1 (804.7 千人)	(21.3)	100.0	1.1	3.3	<b>70.0</b>	17.7	5.3	2.0	0.6
	要介護2 (770.3 千人)	(20.4)	100.0	0.3	1.5	8.2	<b>69.8</b>	14.0	4.8	1.4
	要介護3 (580.2 千人)	(15.4)	100.0	0.2	0.6	2.5	7.9	<b>69.4</b>	14.8	4.7
	要介護4 (490.6 千人)	(13.0)	100.0	0.1	0.4	1.4	3.2	7.9	<b>73.2</b>	13.8
	要介護5 (349.5 千人)	(9.3)	100.0	0.0	0.1	0.4	0.9	1.9	7.8	<b>88.9</b>

図1 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合



### (3) 性・年齢階級別にみた受給者の状況

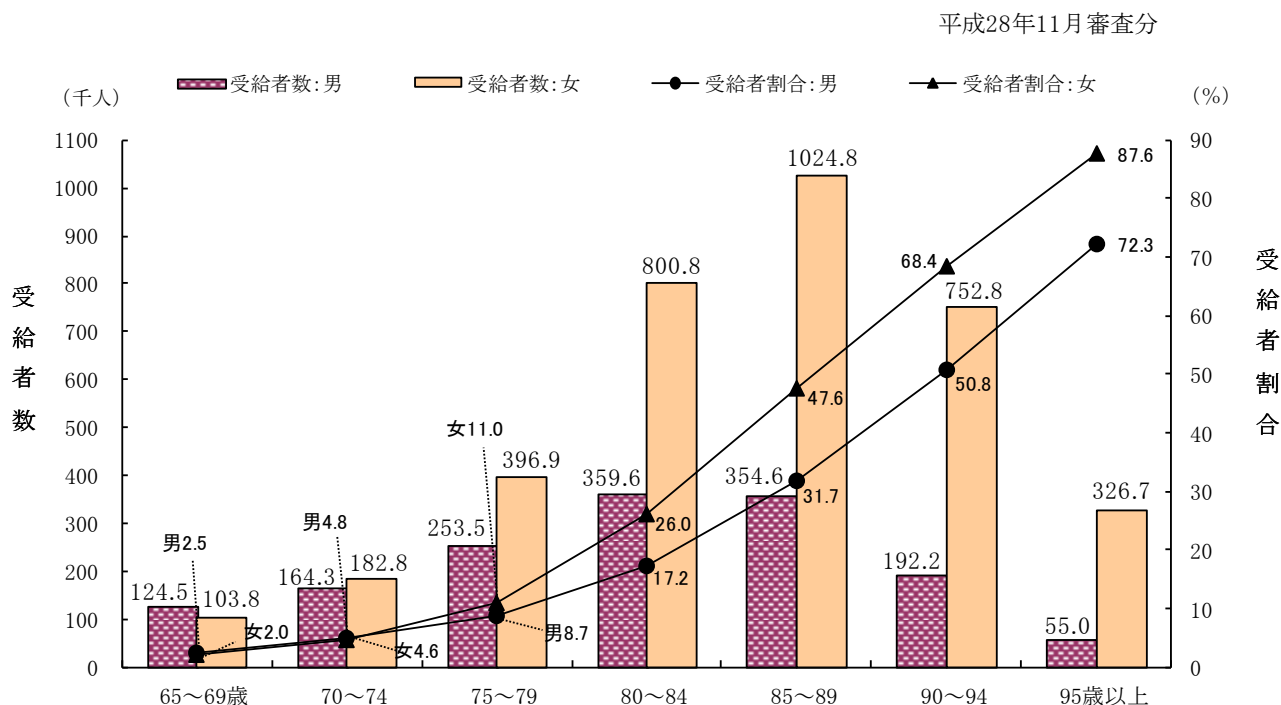
平成29年4月審査分においては、認定者数6,471.3千人、受給者数5,162.5千人となっており、受給者を性別にみると、男1,558.6千人(30.2%)、女3,603.9千人(69.8%)となっている。また、認定者数に占める受給者数の割合をみると、男76.5%、女81.3%となっている。(表4)

65歳以上の各年齢階級別人口に占める受給者数の割合(平成28年11月審査分)を男女別にみると、「75～79歳」以降の全ての階級において、女の受給者数の割合が男を上回っている(図2)。

表4 性別にみた認定者数・受給者数及び認定者数に占める受給者数の割合

	認定者数(千人)①		受給者数(千人)②		構成割合(%)		認定者数に占める受給者割合(%) ②/①	
	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年
					平成29年	平成28年		
総数	6 471.3	6 349.2	5 162.5	5 172.4	100.0	100.0	79.8	81.5
男	2 038.2	1 989.3	1 558.6	1 554.0	30.2	30.0	76.5	78.1
女	4 433.1	4 359.9	3 603.9	3 618.3	69.8	70.0	81.3	83.0

図2 65歳以上における性・年齢階級別にみた受給者数及び人口に占める受給者数の割合



注：各性・年齢階級別人口に占める受給者割合(%) = 性・年齢階級別受給者数 / 性・年齢階級別人口 × 100  
人口は、総務省統計局「人口推計 平成28年10月1日現在(人口速報を基準とする確定値)」の総人口を使用した。

## 2 受給者1人当たり費用額

### (1) サービス種類別にみた受給者1人当たり費用額

平成29年4月審査分の受給者1人当たり費用額は160.4千円となっており、平成28年4月審査分と比較すると3.3千円増加している(表5)。

サービス種類別にみた受給者1人当たり費用額をみると、介護予防サービスでは35.1千円、介護サービスでは191.2千円となっている(表6)。

表5 受給者1人当たり費用額の年次推移

各年4月審査分(単位:千円)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対前年同月増減額
総数	157.6	157.2	157.8	157.0	160.4	3.3

注: 受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

費用額は審査月に原審査で決定された額であり、保険給付額、公費負担額及び利用者負担額(公費の本人負担額を含む)の合計額である。市区町村が直接支払う費用(償還払い)は含まない。

表6 サービス種類別にみた受給者1人当たり費用額及び費用額累計

#### 介護予防サービス

	1人当たり費用額 <sup>1)</sup> (単位:千円)			平成28年度 費用額・累計 (単位:百万円)
	平成29年 4月審査分	平成28年 4月審査分	対前年 同月 増減額	
総数	35.1	36.6	△ 1.5	458 101
介護予防居宅サービス	30.3	31.9	△ 1.6	391 017
訪問通所	28.3	30.2	△ 1.9	354 043
介護予防訪問介護	20.2	20.3	△ 0.2	84 540
介護予防訪問入浴介護	37.4	38.4	△ 1.0	210
介護予防訪問看護	33.9	33.8	0.1	22 397
介護予防訪問リハビリテーション	33.0	33.0	0.0	5 291
介護予防通所介護	29.4	29.5	△ 0.1	150 363
介護予防通所リハビリテーション	34.3	34.3	0.0	60 758
介護予防福祉用具貸与	6.2	6.1	0.0	30 483
短期入所	38.0	38.3	△ 0.2	5 102
介護予防短期入所生活介護	37.3	37.4	△ 0.2	4 505
介護予防短期入所療養介護(老健)	45.0	44.7	0.4	566
介護予防短期入所療養介護(病院等)	39.9	46.6	△ 6.7	31
介護予防居宅療養管理指導	11.2	11.2	0.0	5 444
介護予防特定施設入居者生活介護	81.1	80.7	0.3	26 428
介護予防支援	4.6	4.6	△ 0.0	55 194
地域密着型介護予防サービス	79.4	79.3	0.1	11 890
介護予防認知症対応型通所介護	49.3	49.1	0.2	584
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	68.3	67.9	0.4	8 652
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用)	22.5	26.6	△ 4.1	7
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	240.0	236.9	3.1	2 646
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用)	56.8	25.2	31.6	2

#### 介護サービス

	1人当たり費用額 <sup>1)</sup> (単位:千円)			平成28年度 費用額・累計 (単位:百万円)
	平成29年 4月審査分	平成28年 4月審査分	対前年 同月 増減額	
総数	191.2	190.9	0.3	9 234 343
居宅サービス	119.6	126.3	△ 6.8	4 021 918
訪問通所	104.6	112.4	△ 7.8	3 013 131
訪問介護	72.9	72.1	0.8	845 433
訪問入浴介護	67.0	66.9	0.1	53 936
訪問看護	49.3	49.1	0.2	218 908
訪問リハビリテーション	39.7	39.1	0.5	37 042
通所介護	91.1	92.2	△ 1.1	1 160 469
通所リハビリテーション	84.1	85.2	△ 1.2	419 244
福祉用具貸与	14.6	14.6	△ 0.0	278 099
短期入所	104.5	103.2	1.3	455 062
短期入所生活介護	105.2	103.8	1.4	398 466
短期入所療養介護(老健)	91.4	91.1	0.2	53 536
短期入所療養介護(病院等)	114.5	107.5	6.9	3 060
居宅療養管理指導	12.5	12.5	0.1	88 815
特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	213.0	212.9	0.1	463 872
特定施設入居者生活介護(短期利用)	73.9	72.8	1.1	1 038
居宅介護支援	14.1	14.2	△ 0.1	434 872
地域密着型サービス	163.4	233.6	△ 70.3	1 565 465
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	159.8	161.9	△ 2.1	30 155
夜間対応型訪問介護	35.7	34.0	1.7	3 320
地域密着型通所介護	84.4	.	.	389 906
認知症対応型通所介護	126.6	127.1	△ 0.5	85 657
小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	208.6	209.2	△ 0.6	221 923
小規模多機能型居宅介護(短期利用)	36.5	36.6	△ 0.1	143
認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	276.0	275.9	0.1	627 396
認知症対応型共同生活介護(短期利用)	78.6	81.9	△ 3.3	287
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	213.0	213.9	△ 0.8	17 154
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用)	65.2	63.1	2.1	25
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	287.3	285.6	1.7	170 784
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用以外)	254.4	258.4	△ 4.0	18 678
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用)	44.2	41.3	2.9	38
施設サービス	291.0	290.8	0.2	3 212 088
介護福祉施設サービス	274.7	273.1	1.5	1 692 226
介護保健施設サービス	297.2	297.1	0.1	1 259 208
介護療養施設サービス	389.1	390.0	△ 0.9	260 654

注: 費用額とは審査月に原審査で決定された額であり、保険給付額、公費負担額及び利用者負担額(公費の本人負担額を含む)の合計額である。市区町村が直接支払う費用(償還払い)は含まない。

1) 受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

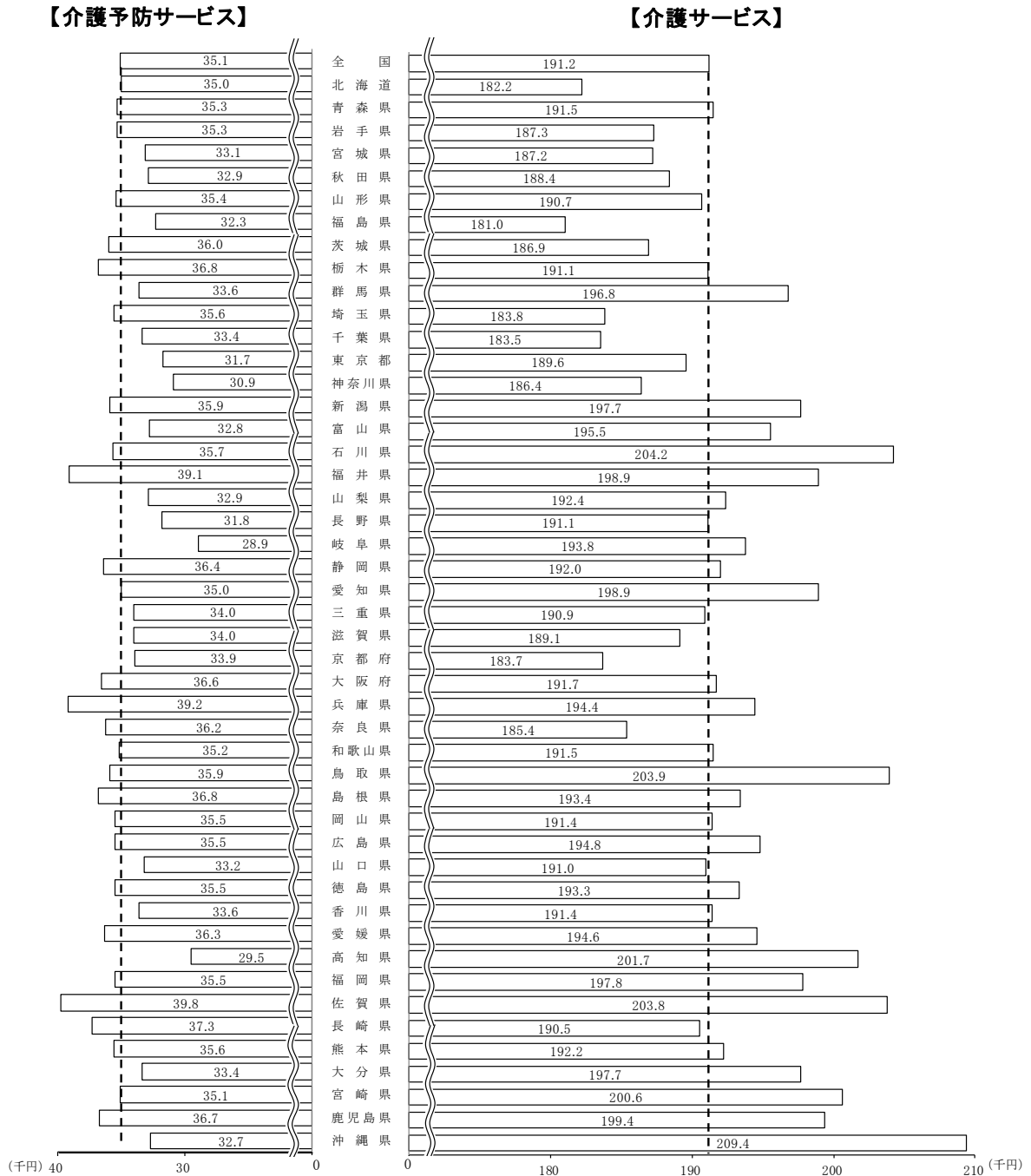


(2) 都道府県別にみた受給者1人当たり費用額

平成29年4月審査分における受給者1人当たり費用額を都道府県別にみると、介護予防サービスは佐賀県が39.8千円と最も高く、次いで兵庫県が39.2千円、福井県が39.1千円となっている。介護サービスでは、沖縄県が209.4千円と最も高く、次いで石川県が204.2千円、鳥取県が203.9千円となっている。(図3)

図3 都道府県別にみたサービス体系別受給者1人当たり費用額

平成29年4月審査分



注: 受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数  
 費用額とは審査月に原審査で決定された額であり、保険給付額、公費負担額及び利用者負担額(公費の本人負担額を含む)の合計額である。市区町村が直接支払う費用(償還払い)は含まない。

### 3 居宅サービスの状況

#### (1) 利用状況

平成 29 年 4 月審査分における平均利用率（居宅サービス受給者平均給付単位数の支給限度基準額（単位）に対する割合）を要介護（要支援）状態区別にみると、「要介護 5」65.3%が最も高く、次いで「要介護 4」61.6%、「要介護 3」57.9%となっている（図 4）。

また、要介護（要支援）状態区別に受給者の居宅サービス種類別の利用割合をみると、（介護予防）訪問看護は、要介護（要支援）状態区分が高くなるに従って利用割合が多くなっている（図 5）。

図 4 要介護（要支援）状態区別にみた居宅サービス受給者平均給付単位数・平均利用率

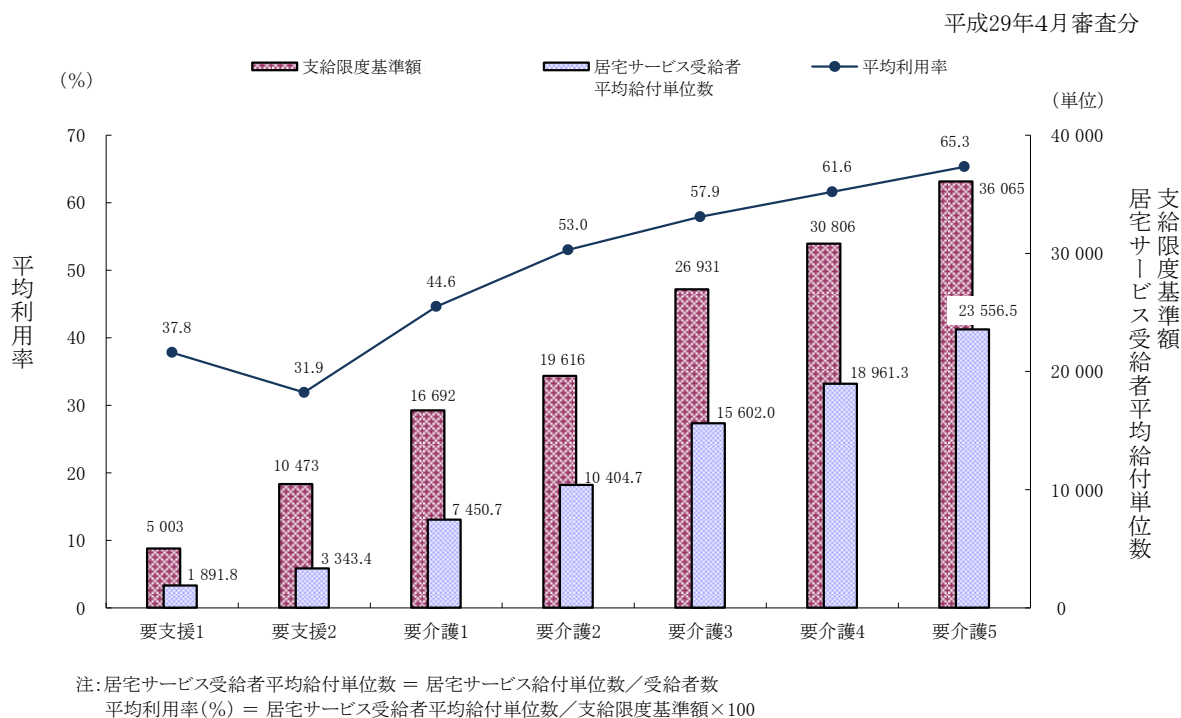
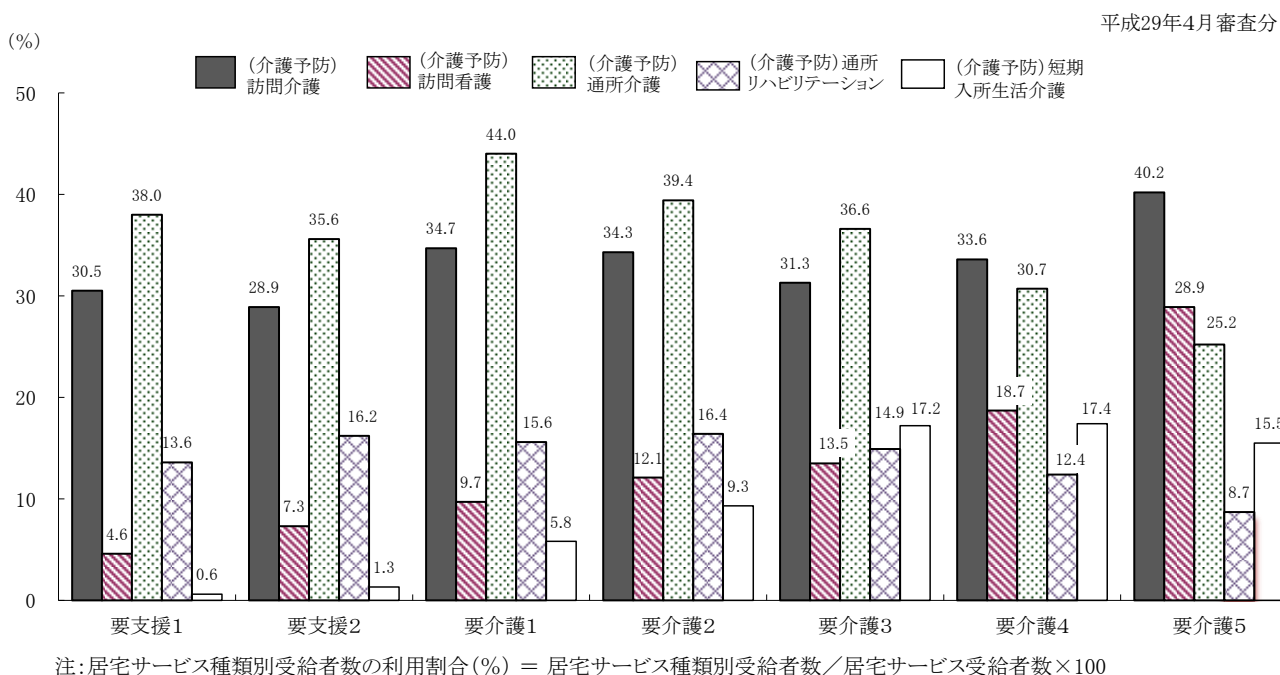


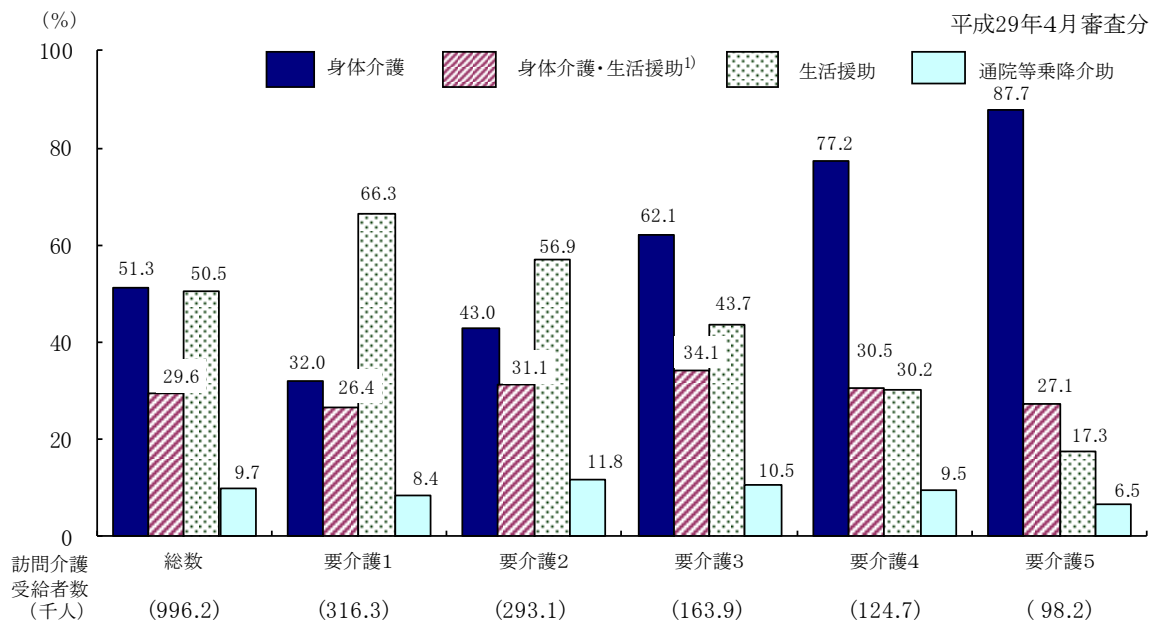
図 5 要介護（要支援）状態区別にみた居宅サービス種類別受給者数の利用割合



## (2) 訪問介護

平成 29 年 4 月審査分の訪問介護受給者について要介護状態区別に訪問介護内容類型の利用割合をみると、要介護 1 では「生活援助」66.3%、要介護 5 では「身体介護」87.7%となっており、要介護状態区分が高くなるに従って「身体介護」の利用割合が多くなり、「生活援助」の利用割合は少なくなっている（図 6）。

図 6 要介護状態区別にみた訪問介護内容類型別受給者数の利用割合



注：訪問介護内容類型別受給者数の利用割合(%) = 内容類型別の受給者数 / 訪問介護受給者数 × 100  
 1) 「身体介護・生活援助」とは、身体介護に引き続き生活援助を行った場合をいう。

## (3) 通所介護・通所リハビリテーション

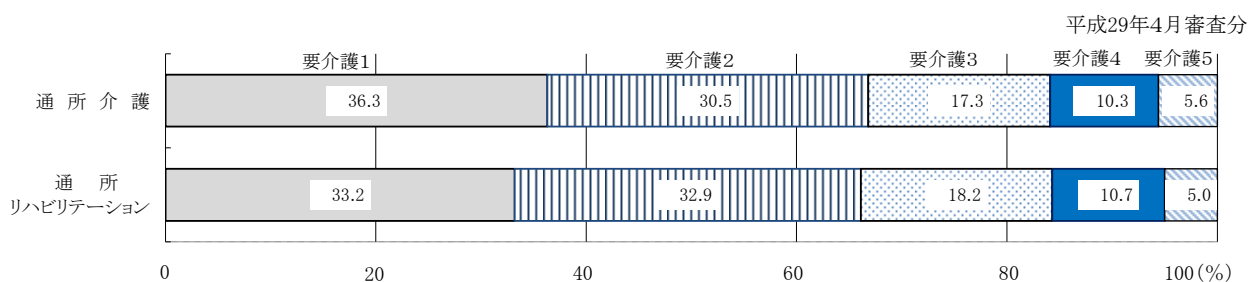
平成 29 年 4 月審査分の通所介護と通所リハビリテーションの受給者について要介護状態区別の割合をみると、「要介護 1」～「要介護 3」の合計が全体の 8 割以上を占めている（表 7、図 7）。

表 7 通所介護—通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数及び割合

平成29年4月審査分

	通所介護		通所リハビリテーション	
	受給者数(千人)	構成割合(%)	受給者数(千人)	構成割合(%)
総数	1 105.0	100.0	427.8	100.0
要介護1	400.8	36.3	142.1	33.2
要介護2	337.4	30.5	140.7	32.9
要介護3	191.5	17.3	77.8	18.2
要介護4	113.8	10.3	45.9	10.7
要介護5	61.6	5.6	21.3	5.0

図 7 通所介護—通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数の割合



#### (4) 福祉用具貸与

福祉用具貸与種目別に、1年間の単位数の割合をみると、「特殊寝台」が29.6%、「車いす」が17.0%となっており、それらの付属品（「特殊寝台付属品」及び「車いす付属品」）を含めると、特殊寝台及び車いすの貸与が全体の6割を占めている（表8）。

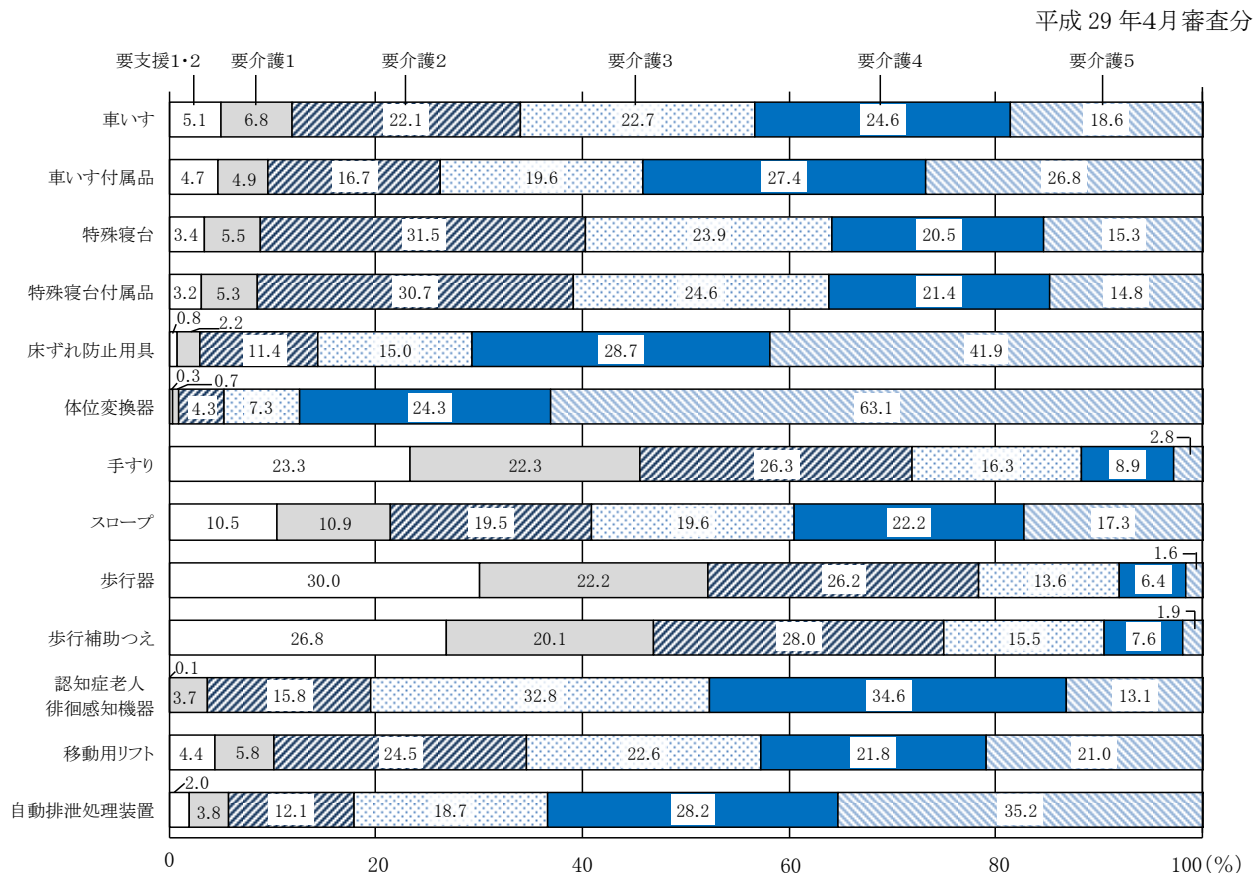
また、平成29年4月審査分の要介護（要支援）状態区分別件数の割合をみると、「体位変換器」や「床ずれ防止用具」で「要介護5」の割合が多くなっている（図8）。

表8 福祉用具貸与種目別にみた件数・単位数

	件 数				単 位 数			
	平成28年度 (千件)	構成割合 (%)	平成27年度 (千件)	対前年度 増減数 (千件)	平成28年度 (千単位)	構成割合 (%)	平成27年度 (千単位)	対前年度 増減数 (千単位)
総数	86 945.0	100.0	81 301.5	5 643.5	31 011 002	100.0	29 442 752	1 568 250
車いす	8 258.9	9.5	8 053.2	205.7	5 275 054	17.0	5 161 908	113 145
車いす付属品	2 966.4	3.4	2 848.9	117.5	543 513	1.8	521 844	21 668
特殊寝台	10 336.2	11.9	9 967.4	368.8	9 192 725	29.6	8 960 706	232 018
特殊寝台付属品	29 846.2	34.3	28 750.8	1 095.4	3 913 360	12.6	3 797 004	116 356
床ずれ防止用具	2 881.4	3.3	2 852.7	28.7	1 851 217	6.0	1 838 267	12 950
体位変換器	391.1	0.4	360.9	30.2	80 726	0.3	72 333	8 393
手すり	18 364.5	21.1	15 988.4	2 376.2	5 311 785	17.1	4 573 262	738 524
スロープ	3 188.6	3.7	2 781.2	407.4	1 102 349	3.6	1 059 280	43 069
歩行器	7 603.0	8.7	6 798.7	804.2	2 213 601	7.1	1 966 995	246 605
歩行補助つえ	2 053.6	2.4	1 876.2	177.4	231 524	0.7	211 189	20 335
認知症老人徘徊感知機器	358.6	0.4	317.5	41.1	222 147	0.7	196 141	26 006
移動用リフト	682.8	0.8	691.1	△ 8.4	1 060 959	3.4	1 070 748	△ 9 789
自動排泄処理装置	13.7	0.0	14.5	△ 0.8	12 043	0.0	13 074	△ 1 031

注：各年度とも5月から翌年4月の各審査月分の合計である。

図8 福祉用具貸与種目別にみた要介護（要支援）状態区分別件数の割合



#### 4 地域密着型サービスの状況

平成 29 年 4 月審査分における地域密着型サービス別の請求事業所数をみると、地域密着型通所介護で 20,265 事業所、認知症対応型共同生活介護（短期利用以外）で 13,192 事業所などとなっている（表 9）。

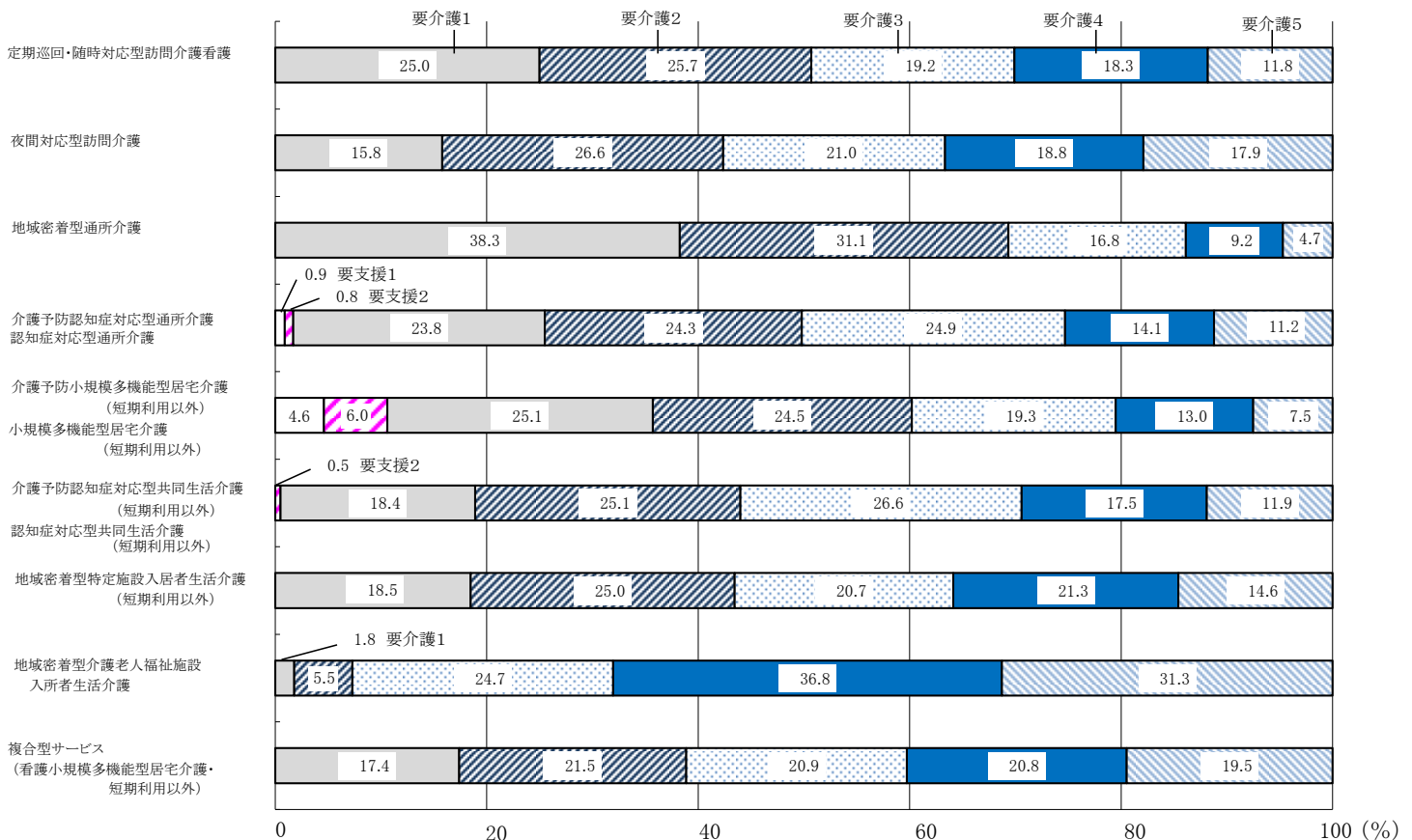
また、地域密着型サービス別に受給者の要介護（要支援）状態区分別の割合をみると、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護では、「要介護 4」「要介護 5」の割合が多くなっている（図 9）。

表9 地域密着型サービス別にみた請求事業所数の月次推移

	平成28年 5月審査分	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月	3月	4月
介護予防認知症対応型通所介護	561	583	585	571	554	583	585	575	571	576	577	577
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	3 377	3 427	3 454	3 477	3 480	3 488	3 520	3 508	3 523	3 559	3 564	3 571
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	804	811	805	791	789	766	801	790	784	789	817	804
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	657	674	673	684	686	694	704	710	718	733	745	747
夜間対応型訪問介護	183	186	187	183	181	181	181	181	181	178	183	185
地域密着型通所介護	20 388	20 687	20 713	20 686	20 636	20 604	20 562	20 491	20 462	20 388	20 340	20 265
認知症対応型通所介護	3 722	3 703	3 709	3 708	3 705	3 703	3 692	3 672	3 668	3 658	3 651	3 645
小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	5 026	5 038	5 049	5 070	5 077	5 095	5 095	5 102	5 123	5 128	5 137	5 155
認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	13 015	13 055	13 069	13 096	13 103	13 114	13 128	13 139	13 159	13 173	13 178	13 192
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	296	300	301	302	303	304	303	305	306	309	310	312
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1 963	1 973	1 980	1 987	1 991	1 994	2 004	2 003	2 010	2 015	2 019	2 031
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用以外)	283	289	296	310	310	318	322	330	336	339	343	350

図9 地域密着型サービス別にみた要介護(要支援)状態区分別受給者数の割合

平成 29 年 4 月審査分



## 5 施設サービスの状況

### (1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表10)

また、平成29年4月審査分の施設サービス別受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図10)。

表10 施設サービス別にみた要介護状態区別単位数

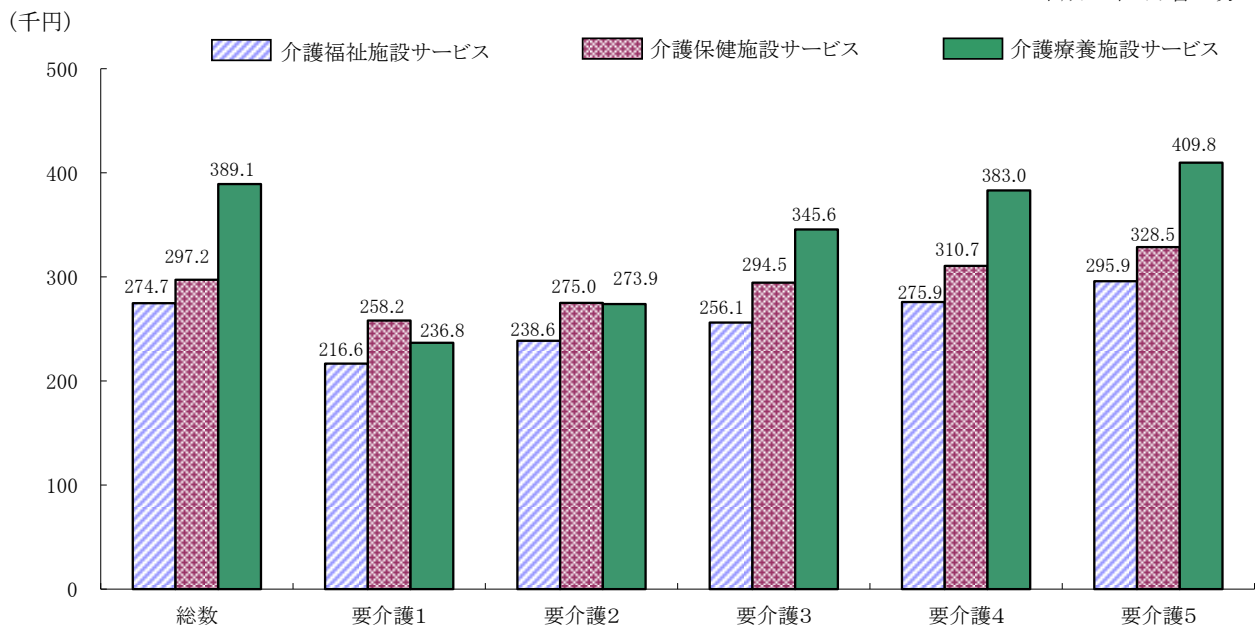
平成28年5月審査分～平成29年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)
総数	165 430	100.0	123 224	100.0	24 260	100.0
要介護1	2 752	1.7	12 023	9.8	171	0.7
要介護2	8 608	5.2	21 174	17.2	435	1.8
要介護3	35 580	21.5	29 636	24.1	1 719	7.1
要介護4	59 618	36.0	34 797	28.2	8 183	33.7
要介護5	58 872	35.6	25 593	20.8	13 752	56.7

注：総数には、月の途中で要介護から要支援に変更となった者を含む。

図10 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額

平成29年4月審査分



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

## (2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

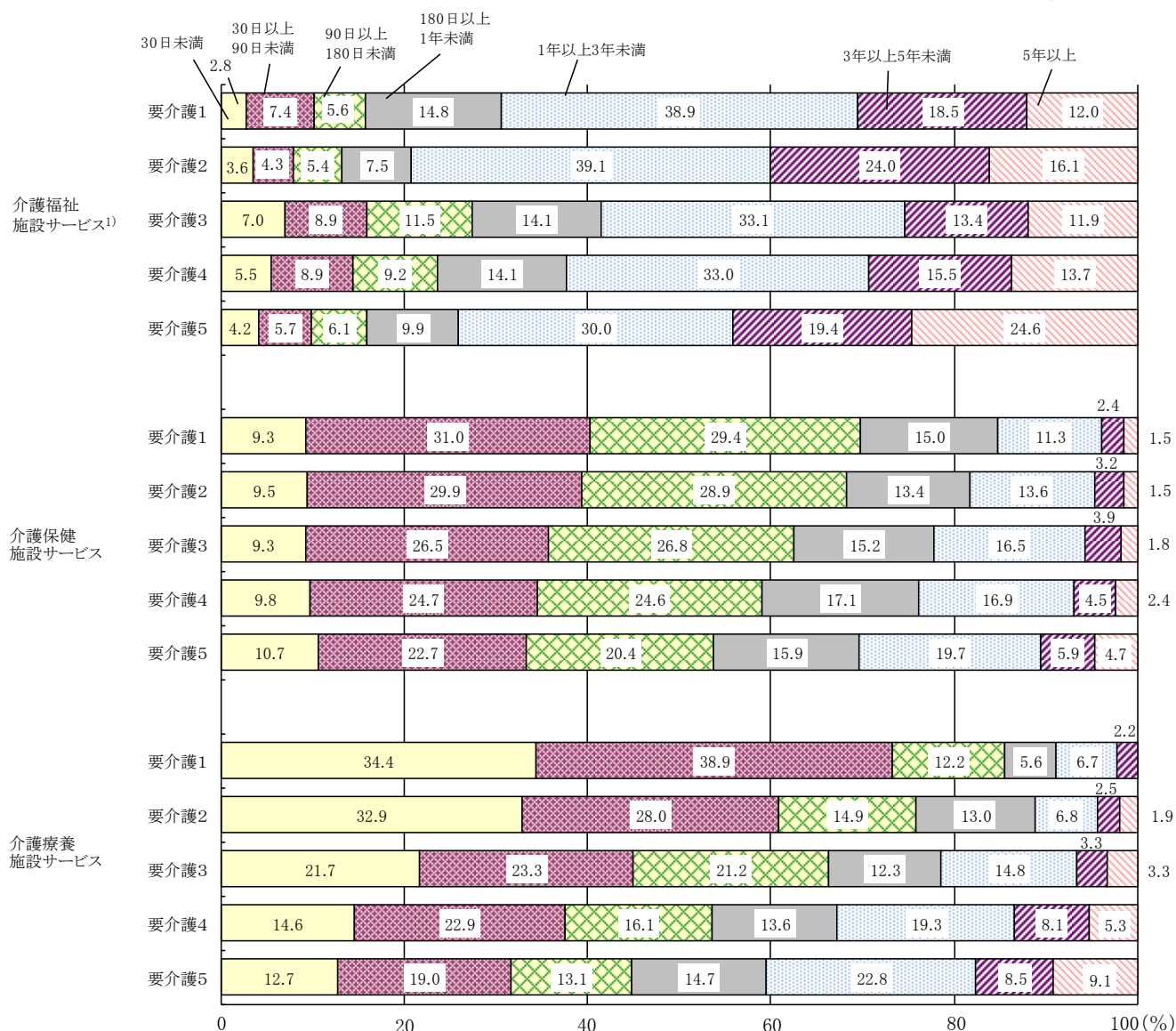
平成29年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも「1年以上3年未満」の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って、1年以上の割合が多くなっている。

介護療養施設サービスでは、「要介護1」～「要介護2」では90日未満の割合が6割を超え、「要介護5」では「1年以上3年未満」の割合が最も多い。(図11)

図11 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合

平成29年4月 審査分



注：1)介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む。

統計表1 介護予防サービス受給者数, サービス種類、月別

(単位:千人)

	平成28年5月 審査分	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	2月	3月	4月
総数	1 113.6	1 116.9	1 108.4	1 100.6	1 085.6	1 087.1	1 072.4	1 063.9	1 053.3	1 038.0	1 024.5	1 021.6
介護予防居宅サービス	1 093.5	1 099.4	1 090.5	1 082.8	1 064.3	1 069.0	1 054.6	1 046.8	1 036.5	1 021.6	1 007.9	1 004.9
訪問通所	1 056.7	1 061.3	1 052.7	1 044.6	1 025.3	1 029.4	1 013.9	1 006.4	996.2	979.8	966.1	962.7
介護予防訪問介護	398.0	391.8	383.3	374.6	361.2	357.3	342.7	333.9	325.4	313.5	304.2	297.4
介護予防訪問入浴介護	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
介護予防訪問看護	53.0	54.5	55.5	56.6	56.7	58.3	59.0	59.7	60.3	60.5	60.7	61.6
介護予防訪問リハビリテーション	13.0	13.2	13.6	13.9	13.8	14.2	14.3	14.7	14.7	14.6	14.7	14.9
介護予防通所介護	476.1	473.7	464.7	455.2	437.0	434.1	419.7	411.7	400.1	384.4	373.6	368.3
介護予防通所リハビリテーション	141.1	143.9	145.4	146.1	145.2	147.8	149.4	150.3	150.8	148.9	149.1	150.8
介護予防福祉用具貸与	390.4	399.8	403.9	407.1	407.2	413.7	416.2	419.0	421.5	423.0	422.4	427.0
短期入所	10.9	11.3	10.9	11.3	11.9	11.6	12.2	11.7	11.2	11.0	10.4	11.4
介護予防短期入所生活介護	9.8	10.2	9.7	10.2	10.7	10.5	11.0	10.5	10.1	9.9	9.4	10.3
介護予防短期入所療養介護(老健)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0
介護予防短期入所療養介護(病院等)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
介護予防居宅療養管理指導	38.2	39.7	39.9	40.4	40.6	41.2	42.2	42.1	41.9	43.1	42.9	43.4
介護予防特定施設入居者生活介護	26.9	27.2	27.3	27.3	27.2	27.6	27.7	27.8	28.0	28.2	28.4	28.6
介護予防支援	1 048.5	1 044.8	1 040.8	1 033.7	1 018.2	1 014.4	1 002.3	994.9	985.6	967.7	956.9	954.7
地域密着型介護予防サービス	12.0	12.2	12.3	12.4	12.4	12.6	12.7	12.6	12.7	12.8	12.8	12.8
介護予防認知症対応型通所介護	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	10.0	10.2	10.2	10.4	10.4	10.6	10.7	10.7	10.8	10.9	10.8	10.8
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



統計表2 介護サービス受給者数、サービス種類、月別

(単位:千人)

	平成28年5月 審査分	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	2月	3月	4月
総数	4 040.5	4 103.5	4 098.2	4 103.3	4 093.0	4 149.7	4 152.0	4 145.1	4 140.0	4 133.1	4 112.2	4 143.3
居宅サービス	2 817.8	2 863.8	2 862.9	2 866.3	2 860.8	2 899.1	2 911.6	2 904.5	2 902.1	2 895.0	2 875.3	2 904.8
訪問通所	2 429.5	2 464.9	2 466.8	2 469.2	2 461.0	2 492.0	2 499.2	2 497.2	2 496.8	2 481.0	2 462.9	2 488.4
訪問介護	977.6	990.5	993.7	994.2	986.2	998.9	1 003.5	1 001.5	1 000.9	990.5	984.6	996.2
訪問入浴介護	69.5	69.5	69.3	68.7	67.9	67.6	67.4	67.6	68.9	67.4	67.0	67.8
訪問看護	370.8	377.6	381.3	383.5	383.8	390.4	394.2	396.3	397.1	395.4	394.0	401.6
訪問リハビリテーション	79.3	80.2	82.0	81.9	81.5	82.6	83.6	84.2	84.4	83.3	83.8	84.6
通所介護	1 083.8	1 091.8	1 093.7	1 095.8	1 087.3	1 105.1	1 111.3	1 112.5	1 111.3	1 095.4	1 090.7	1 105.0
通所リハビリテーション	424.2	429.8	432.2	431.1	427.4	432.8	436.3	436.6	433.4	425.3	422.0	427.8
福祉用具貸与	1 538.3	1 565.0	1 574.9	1 577.5	1 569.3	1 588.7	1 599.2	1 599.6	1 604.2	1 599.9	1 589.1	1 607.6
短期入所	365.5	375.0	368.2	373.1	374.3	376.5	385.4	378.8	375.2	363.7	352.6	369.9
短期入所生活介護	317.9	325.2	318.8	324.4	326.4	328.3	334.3	328.6	327.8	320.1	311.2	325.2
短期入所療養介護(老健)	48.4	50.8	50.5	49.7	48.8	49.3	52.2	51.2	48.5	44.6	42.4	45.8
短期入所療養介護(病院等)	2.6	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1
居宅療養管理指導	565.7	581.5	587.6	590.8	591.3	599.4	612.3	610.7	610.8	616.6	617.4	627.8
特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	179.3	181.2	181.8	182.6	182.3	184.6	185.3	185.8	186.7	186.9	187.2	189.8
特定施設入居者生活介護(短期利用)	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4
居宅介護支援	2 519.7	2 555.3	2 563.5	2 565.8	2 564.0	2 573.9	2 590.0	2 594.6	2 593.8	2 574.2	2 562.6	2 591.2
地域密着型サービス	783.7	814.5	816.9	817.6	810.7	823.6	826.1	826.0	825.0	818.7	816.0	824.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	13.9	14.6	14.6	14.7	15.0	15.4	15.6	16.0	16.3	16.7	16.8	17.3
夜間対応型訪問介護	7.8	8.0	7.9	7.9	7.7	7.9	7.8	7.9	8.0	7.9	8.0	7.9
地域密着型通所介護	374.8	401.2	401.9	401.6	396.5	403.0	405.3	404.7	403.0	397.0	394.5	399.0
認知症対応型通所介護	57.0	58.2	58.5	58.4	57.7	58.5	58.6	58.2	57.8	56.8	56.5	56.8
小規模多機能型居宅介護(短期利用以外)	85.4	86.3	87.2	87.5	87.4	88.8	89.2	88.8	89.5	89.4	89.6	90.2
小規模多機能型居宅介護(短期利用)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
認知症対応型共同生活介護(短期利用以外)	190.4	191.2	191.6	191.9	191.1	193.1	193.2	193.6	193.8	194.0	193.7	195.0
認知症対応型共同生活介護(短期利用)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用以外)	6.6	6.6	6.7	6.7	6.7	6.9	6.8	6.8	6.9	6.9	7.0	7.1
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	49.3	49.8	49.9	50.1	49.7	50.8	50.7	50.9	50.8	51.0	50.9	51.4
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用以外)	5.3	5.5	5.6	5.8	5.8	6.1	6.2	6.3	6.4	6.4	6.6	6.9
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
施設サービス	931.3	932.4	933.2	936.0	924.4	944.1	939.4	936.1	937.1	935.4	934.1	939.9
介護福祉施設サービス	518.2	520.7	522.0	522.9	516.5	528.1	526.3	526.1	525.2	524.8	523.8	525.9
介護保健施設サービス	358.1	356.6	356.5	358.4	354.3	361.3	359.4	357.4	359.9	358.7	359.0	362.9
介護療養施設サービス	58.5	58.4	57.9	57.6	56.5	57.5	56.7	55.8	55.3	54.9	54.3	54.6

統計表3 都道府県別にみたサービス体系別受給者1人当たり費用額

平成29年4月審査分

(単位:千円)

	介護予防サービス				介護サービス			
	総数	介護予防居宅サービス	地域密着型介護予防サービス		総数	居宅サービス	地域密着型サービス	施設サービス
全 国	35.1	30.3	79.4	全 国	191.2	119.6	163.4	291.0
北海道	35.0	30.3	80.4	北海道	182.2	98.7	170.7	287.1
青森県	35.3	30.4	100.0	青森県	191.5	126.6	197.2	287.6
岩手県	35.3	30.3	73.2	岩手県	187.3	111.6	171.3	289.4
宮城県	33.1	28.5	82.6	宮城県	187.2	113.4	171.8	284.6
秋田県	32.9	28.4	74.8	秋田県	188.4	123.0	176.9	284.0
山形県	35.4	29.6	74.3	山形県	190.7	114.5	194.8	279.7
福島県	32.3	27.8	77.8	福島県	181.0	107.2	164.2	282.7
茨城県	36.0	31.2	87.9	茨城県	186.9	110.1	176.3	282.2
栃木県	36.8	31.7	70.8	栃木県	191.1	121.5	176.9	287.6
群馬県	33.6	28.6	78.7	群馬県	196.8	125.0	179.2	284.2
埼玉県	35.6	31.1	91.2	埼玉県	183.8	117.9	142.8	287.2
千葉県	33.4	29.0	72.7	千葉県	183.5	116.6	145.7	287.8
東京都	31.7	27.5	83.0	東京都	189.6	127.2	123.8	305.6
神奈川県	30.9	26.4	80.2	神奈川県	186.4	114.8	142.6	299.1
新潟県	35.9	30.6	77.2	新潟県	197.7	119.3	189.5	288.4
富山県	32.8	27.8	70.3	富山県	195.5	108.7	165.4	305.8
石川県	35.7	30.2	72.5	石川県	204.2	120.9	196.6	288.1
福井県	39.1	33.5	71.2	福井県	198.9	121.1	190.5	287.9
山梨県	32.9	28.2	79.3	山梨県	192.4	120.2	164.0	282.1
長野県	31.8	27.2	73.3	長野県	191.1	115.6	153.6	284.4
岐阜県	28.9	23.8	88.2	岐阜県	193.8	119.6	178.9	280.8
静岡県	36.4	31.8	86.9	静岡県	192.0	116.0	166.8	286.1
愛知県	35.0	30.2	88.9	愛知県	198.9	130.8	166.3	291.7
三重県	34.0	29.2	78.1	三重県	190.9	123.6	156.2	286.4
滋賀県	34.0	29.1	72.2	滋賀県	189.1	112.0	152.8	292.1
京都府	33.9	29.4	73.3	京都府	183.7	107.7	158.8	304.8
大阪府	36.6	32.0	77.3	大阪府	191.7	131.2	139.7	297.3
兵庫県	39.2	34.4	79.0	兵庫県	194.4	124.1	157.1	293.3
奈良県	36.2	31.7	84.7	奈良県	185.4	115.5	147.1	285.2
和歌山県	35.2	30.8	74.2	和歌山県	191.5	124.6	160.9	283.2
鳥取県	35.9	30.6	71.3	鳥取県	203.9	121.2	183.2	295.6
島根県	36.8	31.6	68.2	島根県	193.4	111.3	165.8	288.5
岡山県	35.5	30.2	73.7	岡山県	191.4	111.3	188.8	286.8
広島県	35.5	30.5	71.1	広島県	194.8	118.2	186.4	292.8
山口県	33.2	28.6	65.7	山口県	191.0	111.5	169.9	289.8
徳島県	35.5	30.7	85.8	徳島県	193.3	112.7	193.8	292.5
香川県	33.6	28.8	72.6	香川県	191.4	121.8	166.0	284.3
愛媛県	36.3	31.1	94.9	愛媛県	194.6	117.7	191.5	287.5
高知県	29.5	24.7	81.8	高知県	201.7	107.3	174.9	305.9
福岡県	35.5	30.7	82.6	福岡県	197.8	120.4	184.9	293.3
佐賀県	39.8	33.1	124.4	佐賀県	203.8	128.9	200.1	291.0
長崎県	37.3	31.9	83.2	長崎県	190.5	112.5	191.7	281.9
熊本県	35.6	30.9	69.9	熊本県	192.2	115.3	184.1	295.8
大分県	33.4	28.6	76.9	大分県	197.7	134.3	188.8	284.6
宮崎県	35.1	30.0	84.7	宮崎県	200.6	137.2	176.0	285.3
鹿児島県	36.7	31.5	80.1	鹿児島県	199.4	106.9	193.6	285.4
沖縄県	32.7	28.2	72.4	沖縄県	209.4	155.0	181.3	285.5

注：受給者1人当たり費用額＝費用額／受給者数

費用額とは審査月に原審査で決定された額であり、保険給付額、公費負担額及び利用者負担額（公費の本人負担額を含む）の合計額である。市区町村が直接支払う費用（償還払い）は含まない。

統計表4 総合事業サービス受給者数, サービス種類、月別

(単位:千人)

	平成28年5月 審査分	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	2月	3月	4月
総数	99.6	123.7	141.8	160.8	178.0	198.1	224.5	244.2	261.4	274.3	288.9	302.2
訪問型サービス	45.1	55.8	64.5	73.7	82.3	92.4	105.5	114.3	123.0	129.1	136.2	142.1
訪問型サービス(みなし)	37.7	46.4	53.3	60.6	67.5	75.4	85.0	91.7	98.2	103.1	108.6	112.8
訪問型サービス(独自)	1.5	2.4	3.3	4.4	5.4	6.7	9.1	10.7	11.9	12.8	13.7	14.8
訪問型サービス(独自/定率)	5.7	6.8	7.7	8.4	9.0	10.0	11.0	11.5	12.5	12.9	13.5	14.1
訪問型サービス(独自/定額)	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
通所型サービス	65.3	81.7	93.9	106.3	116.7	130.4	147.2	161.5	172.7	181.0	191.1	200.7
通所型サービス(みなし)	50.1	60.8	67.4	74.1	79.3	86.8	97.4	105.4	111.6	117.0	122.6	128.3
通所型サービス(独自)	7.9	11.5	15.9	20.4	24.8	30.1	35.2	40.3	44.4	47.0	51.0	54.1
通所型サービス(独自/定率)	6.9	8.9	10.1	11.2	12.0	12.8	14.0	15.2	16.0	16.1	16.6	17.3
通所型サービス(独自/定額)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.3	1.3
その他の生活支援サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の生活支援サービス(配食/定率)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の生活支援サービス(配食/定額)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の生活支援サービス(見守り/定率)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の生活支援サービス(見守り/定額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の生活支援サービス(その他/定率)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の生活支援サービス(その他/定額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防ケアマネジメント	14.3	17.0	18.7	20.1	21.7	23.0	23.2	23.6	24.0	25.1	25.8	26.8

統計表5 サービス別にみた年間累計受給者数、費用額累計

	総数		介護予防サービス <sup>1)</sup>		介護サービス	
	年間累計受給者数 <sup>2)</sup> (単位:千人)	費用額累計 (単位:百万円)	年間累計受給者数 <sup>2)</sup> (単位:千人)	費用額累計 (単位:百万円)	年間累計受給者数 <sup>2)</sup> (単位:千人)	費用額累計 (単位:百万円)
平成13年度	26 366.4	4 378 286	・	・	26 366.4	4 378 286
平成14年度	31 795.6	5 225 735	・	・	31 795.6	5 225 735
平成15年度	35 961.8	5 729 220	・	・	35 961.8	5 729 220
平成16年度	39 541.8	6 236 886	・	・	39 541.8	6 236 886
平成17年度	42 011.4	6 295 722	・	・	42 011.4	6 295 722
平成18年度	42 984.1	6 172 401	4 760.1	177 902	38 238.5	5 994 499
平成19年度	43 827.8	6 472 851	8 792.3	341 473	35 057.2	6 131 378
平成20年度	45 331.4	6 737 531	9 584.6	378 874	35 767.7	6 358 657
平成21年度	47 182.8	7 230 970	9 973.1	397 873	37 229.6	6 833 097
平成22年度	49 272.8	7 579 707	10 423.2	413 242	38 872.6	7 166 465
平成23年度	51 806.4	7 987 518	11 001.5	436 848	40 828.7	7 550 670
平成24年度	54 660.3	8 502 903	11 707.9	468 512	42 979.3	8 034 391
平成25年度	57 159.2	8 895 767	12 460.6	502 628	44 727.3	8 393 139
平成26年度	59 685.5	9 303 870	13 267.3	541 333	46 447.9	8 762 537
平成27年度	61 932.0	9 514 804	13 768.8	502 459	48 192.2	9 012 344
平成28年度	62 273.5	9 692 444	12 885.8	458 101	49 413.9	9 234 343

注:1年間のうち介護予防サービスと介護サービスの両方を受けたものは、それぞれに計上される。

1)平成18年度に要介護区分を細分化し、介護予防サービスを創設した。

2)「年間累計受給者数」は、各年度とも5月から翌年4月の各審査月の介護予防サービス又は介護サービス受給者数の合計である。

## 用語の定義

### (1) 原審査

介護サービスを提供した事業所から請求のあった介護給付費明細書等に対する各都道府県国民健康保険団体連合会の審査をいい、計画単位数を超える請求があった場合は査定減点されることがある。

なお、原則としてサービス提供月の翌月が審査月となっている。

### (2) 受給者数

介護予防サービス又は介護サービスを受給し、当該審査月に保険請求のあった者の数であり、同一被保険者が同一月に2種類以上のサービスを受けた場合、サービスごとにそれぞれ計上するが、総数、小計には1人と計上している。

なお、年間累計受給者数は、各審査月の受給者数を合計している。

### (3) 年間実受給者数

各年度とも4月から翌年3月の1年間において一度でも介護予防サービス又は介護サービスを受給したことがある者の数であり、同一人が2回以上受給した場合は1人として計上している。ただし、当該期間中に被保険者番号の変更があった場合には、別受給者として計上している。

### (4) 年間継続受給者数

各年度とも4月から翌年3月の各サービス提供月について1年間継続して介護予防サービス又は介護サービスを受給した者をいう。

### (5) 認定者数

要介護（要支援）認定を受け、介護保険の受給資格がある者として、審査月の前月中に受給者台帳に登録されている者をいう。

### (6) 費用額

審査月に原審査で決定された額であり、保険給付額と公費負担額、利用者負担額（公費の本人負担額を含む）の合計額である。市区町村が直接支払う費用（償還払い）は含まない。

### (7) 単位数

介護サービス費用の単位であり、1単位の単価は地域により異なる。

### (8) 居宅サービス給付単位数

介護給付費明細書のうち、居宅サービス支給限度額管理対象単位数の合計である。

### (9) 支給限度基準額（居宅介護サービス費等区分支給限度基準額及び介護予防サービス費等区分支給限度基準額）

居宅サービス・地域密着型サービス・介護予防サービス・地域密着型介護予防サービスについて、要介護（要支援）状態区分に応じて定められた、1か月間に利用できる保険給付対象となるサービス費用の上限をいう。

## (10) 介護予防居宅サービス・居宅サービス

### ① 介護予防訪問介護、訪問介護

居宅で介護福祉士等から受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話をいう。

### ② 介護予防訪問入浴介護、訪問入浴介護

居宅を訪問し、浴槽を提供されて受ける入浴の介護をいう。

### ③ 介護予防訪問リハビリテーション、訪問リハビリテーション

居宅で心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法、作業療法等のリハビリテーションをいう。

### ④ 介護予防訪問看護、訪問看護

居宅で看護師等から受ける療養上の世話又は必要な診療の補助をいう。

### ⑤ 介護予防通所介護、通所介護

老人デイサービスセンター等の施設に通って受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練をいう。

### ⑥ 介護予防通所リハビリテーション、通所リハビリテーション

介護老人保健施設、病院・診療所に通って受ける心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法等のリハビリテーションをいう。

### ⑦ 介護予防福祉用具貸与、福祉用具貸与

日常生活上の便宜を図るための用具や機能訓練のための用具で、日常生活の自立を助けるもの（厚生労働大臣が定めるもの）の貸与をいう。

### ⑧ 介護予防短期入所生活介護、短期入所生活介護

特別養護老人ホーム等の施設や老人短期入所施設への短期入所で受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練をいう。

### ⑨ 介護予防短期入所療養介護、短期入所療養介護

介護老人保健施設、介護療養型医療施設等への短期入所で受ける看護、医学的管理下の介護と機能訓練等の必要な医療並びに日常生活上の世話をいう。

### ⑩ 介護予防居宅療養管理指導、居宅療養管理指導

居宅要介護者について、病院、診療所等の医師、歯科医師、薬剤師等により行われる療養上の管理及び指導をいう。

### ⑪ 介護予防特定施設入居者生活介護、特定施設入居者生活介護

有料老人ホーム等に入居する要介護者等が、特定施設サービス計画に基づいて施設で受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話をいう。

※ ⑪で「短期利用」とある場合は、一定要件を満たす特定施設における、空室がある場合の短期利用のサービスをいう。

## (11) 介護予防支援

居宅要支援者の依頼を受けて、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を勘案し、介護予防サービスや地域密着型介護予防サービスを適切に利用するための介護予防サービス計画等の作成、介護予防サービス提供確保のための事業者等との連絡調整その他の便宜の提供等を行うことをいう。

## (12) 居宅介護支援

居宅要介護者の依頼を受けて、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を勘案し、在宅サービス等を適切に利用するために、利用するサービスの種類・内容等の居宅サービス計画を作成し、サービス提供確保のため事業者等との連絡調整その他の便宜の提供等を行うとともに、介護保険施設等への入所が必要な場合は施設への紹介その他の便宜の提供等を行うことをいう。

## (13) 地域密着型介護予防サービス・地域密着型サービス

### ① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期的な巡回訪問又は通報を受け、居宅で介護福祉士等から受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の世話、看護師等から受ける療養上の世話又は必要な診療の補助をいう。

### ② 夜間対応型訪問介護

夜間において、定期的な巡回訪問又は通報を受け、居宅で介護福祉士等から受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話をいう。

### ③ 地域密着型通所介護

小規模の老人デイサービスセンター等の施設に通って受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練をいう。

### ④ 介護予防認知症対応型通所介護、認知症対応型通所介護

認知症の要介護者（要支援者）が、デイサービスを行う施設等に通って受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練をいう。

### ⑤ 介護予防小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護

居宅又は厚生労働省令で定めるサービスの拠点に通わせ、又は短期間宿泊させ、当該拠点において受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練をいう。

### ⑥ 介護予防認知症対応型共同生活介護、認知症対応型共同生活介護

比較的安定した状態にある認知症の要介護者（要支援者）が、共同生活を営む住居で受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練をいう。

### ⑦ 地域密着型特定施設入居者生活介護

有料老人ホーム等に入居する要介護者等が、地域密着型サービス計画に基づいて施設で受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話をいう。

### ⑧ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型介護老人福祉施設に入所する要介護者が、地域密着型サービス計画に基づいて受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をいう。

### ⑨ 複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）

訪問看護及び小規模多機能型居宅介護の組合せにより提供されるサービスをいう。

※ ⑤及び⑨で「短期利用」とある場合は、一定要件を満たす当該サービスにおける、短期利用に活用可能な宿泊室がある場合の短期利用のサービスをいう。

⑥及び⑦で「短期利用」とある場合は、一定要件を満たす当該サービスにおける、

空室がある場合の短期利用のサービスをいう。

#### (14) 施設サービス

##### ①介護福祉施設サービス

介護老人福祉施設に入所する要介護者が、施設サービス計画に基づいて受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をいう。

(介護老人福祉施設…老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム（入所定員が30人以上であるものに限る。）で、かつ、介護保険法による都道府県知事の指定を受けた施設であって、入所する要介護者が、施設サービス計画に基づいて受ける入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行うことを目的とする施設)

##### ②介護保健施設サービス

介護老人保健施設に入所する要介護者が、施設サービス計画に基づいて受ける看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をいう。

(介護老人保健施設…介護保険法による都道府県知事の開設許可を受けた施設であって、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とする施設)

##### ③介護療養施設サービス

介護療養型医療施設の療養病床等に入院する要介護者が、施設サービス計画に基づいて受ける療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他必要な医療をいう。

(介護療養型医療施設…医療法に規定する医療施設で、かつ、介護保険法による都道府県知事の指定を受けた施設であって、入院する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他必要な医療を行うことを目的とする施設)

#### (15) 訪問介護内容類型

- ・身体介護…利用者の身体に直接接触して行う介護等と、日常生活を営むのに必要な機能の向上等のための介助及び専門的な援助をいう。
- ・生活援助…日常生活に支障が生じないように行われる調理・洗濯・掃除等をいう。
- ・通院等乗降介助…利用者の通院等のために指定訪問介護事業所の訪問介護員等が、自ら運転する車両への乗車・降車の介助を行い、併せて乗車前・降車後の屋内外での移動等の介助、又は通院先・外出先での受診等の手続・移動等の介助を行うことをいう。

#### (16) 総合事業

市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指す「介護予防・日常生活支援総合事業」をいう。